

平成30年度英語科授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1. 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

3年生は、ほとんどの項目で目標値よりも低くなっており、特に表現の能力（「書くこと」）については低さが際立っている。辞書を整備して、授業内で英語を書く機会を増そうとしているがなかなか成果に結びついてきていない。ただし、聞くことにおいて、目標値を超えている項目もあるので、オーラル・イントロダクションなどによって英語を聞く機会が増えた成果だと思われる。2年生は、全体として目標値を下回っている。特に、聞くことや書くことにおいてはまだまだ隔たりがあるので、授業内で英語を聞き取る機会を増やすこと、英語を書く機会を増やすことが求められる。2年生、3年生ともに、学習習慣をつけるために課題を工夫しているが、引き続き継続して取り組むことが必要であると考える。

(2) 課題

① コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・生徒に身近な話題を取り上げて、今後の授業展開を工夫することで、生徒の興味・関心をさらに高めていく。
- ・家庭学習の習慣の必要性を教え、継続的な家庭学習を促すために、予習・復習用のノートに積極的に取り組ませ、定期的にチェックする。
- ・意欲がある生徒には、「英語カフェ」で積極的に「表現の能力」の向上に取り組ませる。

② 外国語表現の能力

- ・自己紹介やスピーチなど、英語を使って発表する機会を設けてきたが、さらに回数を増やして、定期的に行っていく。また、評価プリントや振り返りシートなどを活用してきたが、より客観的に自己評価ができるような工夫も取り入れる。
- ・「書くこと」の指導の充実を図るために、英語で表現する活動を増やして、間違いを恐れずに書くことに慣れさせる。
- ・単語や文型のテストなどを行い、基本的な文法事項を定着させる。

③ 外国語理解の能力

- ・1年次から考査ごとの聞き取りテストの実施。
- ・まだまだ「聞くこと」への苦手意識があり、詳細なことがらも聞き取ることができるようになる必要がある。
- ・「聞くこと」における理解の能力の定着を図るために、リスニングの機会を増やし、タスクを工夫して、聞くことに慣れさせる。
- ・「読むこと」において、要点を捕らえる読み方ができるように、発問の工夫をする。また、詳細を把握する能力の定着を図るために、音読の機会を増やす。
- ・外国語を理解するために、既習の知識を十分に活かしていきれていない。

④ 言語・文化についての知識・理解

- ・基本的な文法事項の定着を図り、基本的な技能を身に付けるために、授業改善や課題の工夫が必要である。
- ・辞書を活用できるように、授業で日ごろから辞書を引く習慣を身につけさせるような工夫をする。
- ・基本的・基礎的事項の定着を図るために、教科書などを活用して、既習単語や既習文型などについて、練習を繰り返し行う。

2. 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第2学年	基本的な語法の正答率が低く、そのために正しい語順で英文を書くことができていない。理解の能力では、対話の内容や要点を聞き取ったりすることは苦手であるが、英文を読んだりすることは目標値を少し上回っている		
第3学年	英語を聞き取ることはほぼできているが、表現の能力(書くこと)の低さが目標値に比べて際立っている。長文の要点を把握することでは、目標値を大きく下回っている。	特に、表現の能力(書くこと)の低さが目標値に比べて際立っている。理解の能力では、細かなことがらを聞いたり、読んだりすることが目標値を大きく下回っている。	

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化についての 知識・理解
基本的な知識は習得しているが、それを十分に活かし切ろうとしていない。	語順などの基本的な文構造が理解できていない。	理解をするために、既に習得した知識を十分に活かし切れていない。	基本的な単語や文型の練習に取り組みせる必要がある。

② 第2学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化についての 知識・理解
目標値を大きく下回っている。基本的な知識は習得しているが、それを十分に活かし切ろうとしていない。	目標値をかなり下回っている。語順などの基本的な文構造が理解できていない。	目標値をやや下回っている。まだまだ、理解するために習得した知識を十分に活かし切れていない。	目標値をやや下回っている。基本的な単語や文型の練習に取り組みせる必要がある。

③ 第3学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化についての 知識・理解
目標値をやや下回っている。基本的な知識は習得しているが、それを十分に活かし切ろうとしていない。	目標値をかなり下回っている。語順などの基本的な文構造が理解できていない。	目標値をやや下回っている。まだまだ、理解するために習得した知識を十分に活かし切れていない。	目標値をやや下回っている。基本的な単語や文型の練習に取り組みせる必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化について の知識・理解
授業や英語カフェでALTと積極的に接する態度を培わせる。また、生徒同士英語で会話する姿勢を身に付けさせる。	正しい語順で表現できるように、言語活動の回数を多くし、音読やスピーキングテストなど、発表の機会を増やす。	対話の流れなどから内容を類推できるようにして、最後まで聞くことや読むことを続けられるように指導する。	語順などが正しく書けるように、既習事項に関してはそれを確認する小テストなどを行う。

（2）第2学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化について の知識・理解
授業や英語カフェでALTと積極的に接する態度を培わせる。	場面に応じて表現できるように、音読やスピーキングテストなど、発表の機会を増やす。	対話の流れや資料から内容を類推できるように、最後まで聞き、読み続けるように指導する。	語順などが正しく書けるように、既習事項に関してはそれを確認する小テストなどを行う。

（3）第3学年

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語・文化について の知識・理解
授業や英語カフェを活用してALTと対話する機会を増やすこと、また、生徒同士積極的に英語で対話する姿勢を身に付けさせる。	正しい語順で表現できるように言語活動の機会を増やす。また、英語でのパフォーマンスの回数(インタビューやスピーキングテストなど)も増やす。	分からない語があっても前後の文から類推できるようにして、聞いたり、読んだりできるように指導する。長文問題にできるだけ多く触れさせる。	語形変化を正しくできないなど、語形・語法の知識・理解が低い。小テストなどを行い、覚えた文法事項を活用できるようにする。